

権現山古墳群（ふじみ野市）

これは少し離れた南側から、正面に権現山古墳群の森を見たところ/右手の道路が古墳群のエリアを貫通し、古墳の一部を削り取ってしまっている



ここは上記の写真の東寄り、権現山古墳群の森（左手）の崖下を流れる新河岸川



権現山古墳群の配置図/前方後方墳1基、方墳11基からなる/北西方向に権現山北古墳群が所在する



権現山古墳群の森は「埼玉県指定 権現山古墳群史跡の森」という公園になっており、ここに遺構が保存・整備されている

[video](#)



右手を見たところ



権現山古墳群の北西方向（地図の少し上）に権現山北古墳群が展開していたが、現在は消滅している



2号墳

これは前方後方墳である2号墳の後方部を、北西側から見たところ/左手の道路によって一部削り取られてしまっている

 [video](#)



同じく、後方部の墳丘を見る/右手が前方部/標柱や説明板が幾つか立っている



3世紀末～4世紀初頭の築造とされる古墳群であるが、「権現山墳墓群」という言い方があるように、2号墳も「前方後方形周溝墓」の延長線上にあるものらしい

権現山ごんげんやま

眼下に新河岸川を見下ろし、対岸には蓮光寺や田園を望む高台一帯は、武蔵野の面影を残す静寂な一角となっている。

古来、この地は権現山(將軍塚)と呼ばれ、徳川家康一行が鷹狩りに来た時に休息したと伝えられている塚である。また、対岸には家康一行が立ち寄った蓮光寺もある。塚の上には、「東照神祖命」と刻まれた小さな石碑が建てられているが、これには天保十一年(一八四〇)とあり、後に造立されたものである。権現山は家康を「東照大権現」と呼ぶところからきており、現在、この塚はふじみ野市指定文化財の史跡になっている。

また、権現山の周辺には「権現山墳墓群」といわれる方形周溝墓や古墳などが発見された古墳時代の遺跡があり、この権現山も「前方後方形」をした初期古墳の一つである。ここから出土した3世紀末から4世紀初頭ともいわれる優美な底部穿孔土器や5世紀頃の竊形須恵器は、市指定有形文化財として、歴史民俗資料館で展示公開されている。

平成五年三月

埼玉県
ふじみ野市

1号墳（方墳）も道路によってほとんど削り取られてしまっているのが見てとれる/現在は1・2号墳のほか、3・4・5・7・10・11・12号墳が保存されているようだ

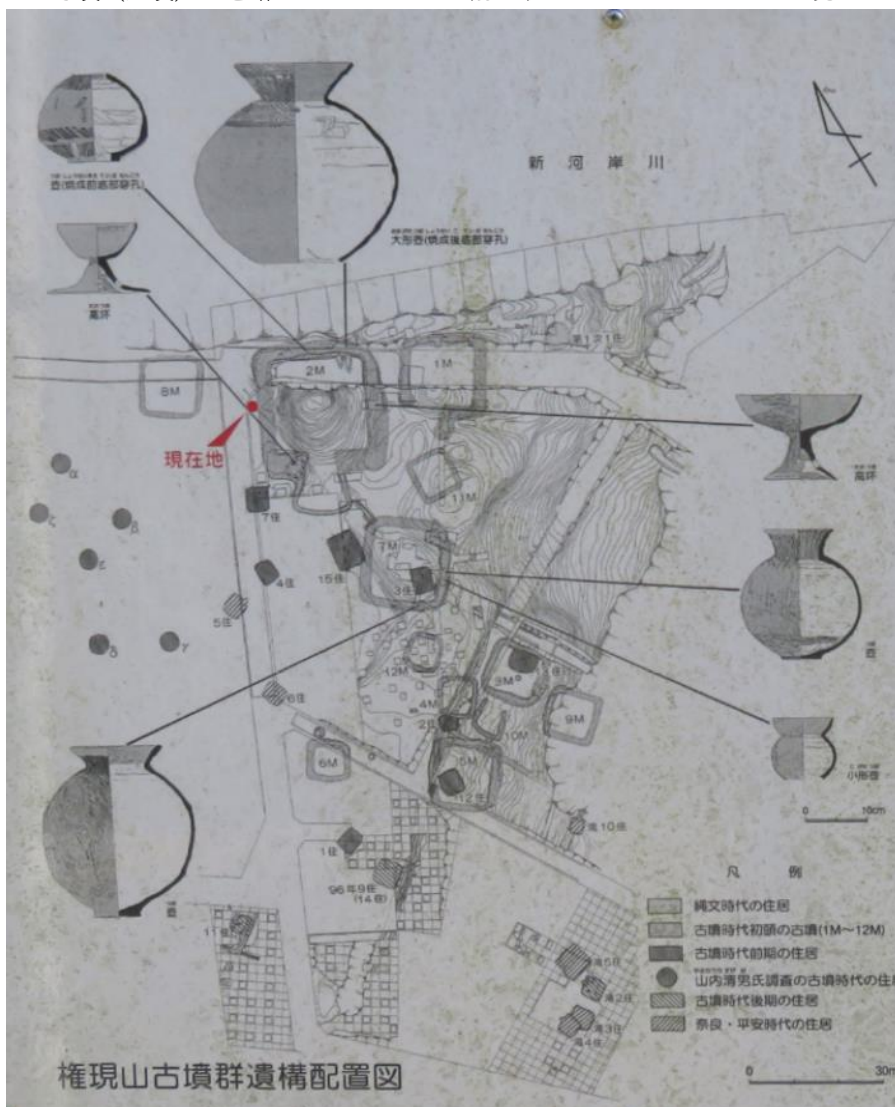
埼玉県指定史跡 権現山古墳群

古墳時代の初め頃（三世紀後半）、眼下に関東平野を見渡せる眺望の優れたこの地に、前方後方墳一基と方墳十一基が造られました。前方後方墳（二号墳）は、墳長三十二m、後方部二十m四方で、古墳群の中でもひとときわ大きく、盟主の墓であると考えられます。さらに、古墳の周りをめぐる溝の中から葬送儀礼に使用された高坏や底部に穴をあけた壺などが出土し、古墳時代の幕開けを知る重要な資料として確認されました。

近畿地方で大和政権が成立した頃、荒川下流域に造られた初期の希少な古墳群として、往時の様子を今日に伝えていることから、六基の古墳と出土土器七点が平成十四年三月二十二日に埼玉県の指定史跡になりました。

平成十六年一月

ふじみ野市教育委員会



西側に回って権現山古墳群の主墳である2号墳を見てみよう/正面が2号墳/右手に説明板が見える



2号墳の表示板と説明板がある/南西側から見たところ

[video](#)



手前が前方部/奥が後方部/後方部は道路によって一部削り取られてしまっている



説明板



2号墳/前方後方墳/周溝が巡っている/その向こうは新河岸川と荒川低地/更にその向こうは大宮台地

古代のいざない 盟主の墓「2号墳」



権現山古墳群2号墳は、およそ1,700年前の古墳時代初期に造られた前方後方墳です。前方後方墳とは、上から見ると二つの四角形を組み合わせた形をした古墳で、古墳時代を通じて九州から東北地方中部地域までで造られました。

この2号墳は他の古墳よりひととき大きく、全長32m、後方部は一辺20m四方、前方部は12mに及びます。現在のふじみ野市一帯をまとめた盟主の墓と考えられています。遺体を埋葬した後方部は高さ約2mの盛り土が施されていますが、前方部にはほとんどされていません。周囲には溝がめぐらされ、くびれ部は溝幅5m80cm、深さ1m。前方部は溝幅1m、深さ40cmです。

古墳の上には、葬送儀礼のために食べ物などを盛った高坏や壺などの土器が供えられました。発掘調査により周囲の溝からは墳丘から転がり落ちた状態の土器4点が発見されており、そのうちの高さ33.5cmの土師器の壺は、わざと底を打ち欠いて器としての機能を失わせています。これは儀礼専用に使されたもので、後の埴輪へと変容していったと考えられます。

「権現山」の名前は、徳川家康が鷹狩のときにここで休憩したという伝承から家康の別称「東照大権現」より江戸時代から呼ばれてきました。現在は塚の上には江戸時代後期に建てられた「東照神祖命」の石の祠がまつられています。

左手から見たところ

 [video](#)



同じく、右手から見たところ



後方部の削り取られてしまった部分を北側から見たところ



後方部の削り取られてしまった部分を北東側から前方部方向に見たところ



同じく、東側から見たところ/左手は1号墳の辺りと思われる/右手の道路前方は8号墳があったエリアのようだ

 [video](#)



後を振り返ると、道路の崖下には新河岸川が流れている



さて、公園内の他の古墳を見てみよう/説明板がある/前方は2号墳

[video](#)



こ ん げ ん や ま こ ぶ ん ぐ ん
 権 現 山 古 墳 群

埼玉県指定史跡

紀元後3世紀後半にあたる弥生時代の終わりから古墳時代の初め頃、新しい居住場所を求める人々が集団でここ権現山の地にやってきました。当時の人々は、一辺5~6mの竪穴式の家を造り、数軒がまとまって生活していました。

この辺り一帯を支配する首長が亡くなると、人々は墳丘の大きさが32mの前方後方形のお墓(2号墳)を造りました。お墓の形に沿って周りに溝を掘り、高さ2~3mの盛り土をしたところに遺体を埋葬しました。その後も有力者が亡くなるたびに次々と首長の墓のまわりに方形のお墓(7号墳ほか)を造り、壺や食べ物を盛る高坏をお墓の上に飾り葬送儀礼を行って死者を弔いました。

見晴らしの良い高台のへりに築かれたたくさんのお墓は、すぐ下の集落(滝地区)から仰ぎ見る位置にあって、亡き首長たちの偉容をあらわし、当時の人々にとって大きな心の拠り所たうたことでしょう。

この時期の古墳は、埼玉県内で現存している例が少なく、永く将来に残すべき貴重な文化財として保存していく必要があります。



古墳が造られた頃の様子
 (復元イメージ)



2号墳の溝から出土した土器
 ふじみ野市立土曜歴史民俗資料館で展示しています

8号墳は道路で消滅しているようだ



11号墳

正面は11号墳の辺りだが・・・



7号墳

正面は7号墳/方墳/表示板が置かれている





左手から見たところ



同じく、右手から見たところ



同じく、反対側から見たところ



12号墳

正面は12号墳/方墳





左手から見たところ



同じく、右手から見たところ



4号墳

正面は4号墳/方墳

 [video](#)





左手から見たところ



同じく、右手から見たところ



5号墳

正面は5号墳/方墳





右手から見たところ



10号墳

正面は10号墳/方墳





左手から見たところ







左手から見たところ



同じく、右手から見たところ



9号墳

正面の辺りが9号墳と思われるが、表示などは無い/現存していないようだ



6号墳

正面の辺りが6号墳と思われるが、宅地開発により消滅したようだ



ここは南西側の公園入口

 [video](#)



さて、こちらの建物は上福岡歴史民俗資料館



古墳がつくられたころ

3世紀後半、近畿地方で古墳がつくられると、その文化は東北地方南部にまで広がりました。

5世紀になると円墳1基と方墳3基からなる権現山北古墳群が、権現山古墳群のすぐ北側につくられるようになりました。円墳の周溝からは須恵器はそうと円筒埴輪片が出土しました。このころ埼玉県内では、大和政権の援助を受けた豪族が本格的な水田開発を行い、埼玉古墳群のような巨大な古墳も多くつくられていきました。



権現山遺跡



権現山古墳群をつくった人びと

3世紀後半の古墳時代の初め、新河岸川と荒川低地を望める見晴らしのよい場所に前方後方墳1基と方墳11基からなる権現山古墳群がつけられました。

権現山古墳群では、底に穴をあけた壺や溝の際に埋められた壺棺、高坏などが発見され、当時の儀式のようすがうかがえます。

権現山古墳群南側斜面の下にある滝遺跡では、同時代の住居跡も見つかっており、滝遺跡の人びとは、権現山古墳群に見守られていたようです。

権現山古墳群2号墳の推定復元模型



参考ホームページ

<https://www.city.fujimino.saitama.jp/soshikiichiran/shakaikyoikuka/bunkazaihogogakari/2245.html>

<https://massneko.hatenablog.com/entry/2018/10/31/000000>

<http://homepage.obunko.com/iseki/kohun/fuzimino-gongenyama.htm>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/saitama/fujimino/gongenyama.htm>

<http://www.eniguma49.sakura.ne.jp/kofun.kodaiiseki/saitama/gongennyamakofunngun/gongennyamakofunngun.html>

<http://keny72.blog.fc2.com/blog-entry-697.html>

<http://michikusa520.blog.fc2.com/blog-entry-32.html>

<https://ankenna.blog.fc2.com/blog-entry-530.html>

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12308568109.html>

